

# 聞いてきました まちの 声

表紙によせて VOL. 12

## 八女人形会館 店長 稲富 隆彦 氏



今回は、CMでおなじみの八女人形会館のショールームを訪ね、稲富店長に雛人形について話を伺いました。ルーツは1932年に藤木佐平氏の創業により、提灯、玩具の製造業を始められたとのことですが、伝統技術を継承されてきたことが今につながっていると実感しました。雛人形の歴史や技術そして思いを語っていただきましたが、端々に八女市の発展のためという言葉が印象的でした。

### 雛人形の歴史についてお聞かせください。

平安時代に草や藁で作った人形(ヒトガタ)で自分の体を撫でて汚れを移し、それを川に流すことで邪気払いを行うことが始まりで、今の形になったのは江戸時代後期とされています。

古代中国の陰陽五行説から生じた五節句の中で、上巳の節句にあたる3月3日に、厄を祓い健やかな成長を祈願して人形を飾ることが習わしとなったようです。

### 八女地域における、雛人形の特徴等について教えてください。

八女では、仏壇や大工の副業として作られた「箱雛」と呼ばれる男雛と女雛を1体ずつ収納したものが特徴で、八女伝統工芸の技術を駆使して作られており、完成度が高く取り扱いが便利なことから近隣地域からの注文も多かったようです。

### 生活様式の変化に伴う雛人形の現況についてお聞かせください。

3段飾りや親王飾りが主流で、近年の住宅状況に伴いコンパクトで洋間にも合った雛人形が人気です。

### 今後の目標について教えてください。

節句文化の原点を見つめなおし、お子様の成長を祈願する意味合いなどをしっかり伝えながらこの伝統文化を絶やさないう頑張りしたいと思います。併せて、八女市のPRを行うことで伝統産業が守っていければと考えています。

### 議会に対してメッセージをお願いします。

海外のお客様も受け入れていきたいと考えています。八女市の魅力から更に観光分野に力を入れていただきたいと思いますので、議会でも取り組んでいただくようお願いします。

## 議会を傍聴しませんか? 次回定例会

2月22日(水)予定  
立花庁舎議場 午前10時から  
八女市議会事務局 23-4922



スマートフォンやタブレット端末で  
議会中継を見ることができます

<http://www.city.yame.fukuoka.jp/shisei/12>  
インターネットから「八女市議会」を検索  
「議会インターネット中継」をクリック!

## 編集後記

議員の任期もあと僅か。勇退する方、再度挑戦する方、各人が市民の審判を仰ぎ「市民に開かれた、皆様と共にある議会」を目指して、それぞれに改革を進めていきます。現任期中は、コロナ禍やロシアのウクライナ侵攻、物価高騰、政治と宗教の癒着、防衛財源など内憂外患の4年でした。今年は皆様にとって幸せな春の訪れとなりますようお祈り申し上げます。 田中 栄一

### 発行責任者

議長 角田 恵一

### 議会だより編集委員会

委員長 高橋 信広  
副委員長 大坪久美子

委員 松崎 義平  
委員 栗原 吉之  
委員 牛島 孝之  
委員 堤島 康幸  
委員 田中 栄一  
委員 川口 正信  
委員 高山 信